

【特集】秋、バイク、ツーリング!

P10 大人が愉しむ オートバイ

P12 注目の新車/HARLEY-DAVIDSON BREAKOUT/MV AGUSTA SUPERVELOCE 1000 SERIE ORO

P14 注目の新車/DUCATI PANIGALE V4S/HONDA GB350C

P16 BMW R12 CUSTOM PROJECT

P18 Ducati Scrambler World Tour!

P20 冒険心を解き放つ スズキV-Strom250SX!

P22 今気になるのは快適走行&手軽に乗れる250ccクラス!

P24 新型インディアン「スカウト101」 今までにない究極の走り!

P26 人気再燃 ス克蘭ブラー・ダッシュ!

P28 俳優・岩城滉一、8年ぶりのレースへ

P30 クラシックなスタイルを程よく残し、モダンに進化したスポーツクルーザー
「ロイヤルエンフィールド ショットガン650」

P32 「HONDA E-CLUTCH」走りを変えるホンダの新・電子制御技術

P34 初めての「Y-AMT」

P35 Italian Bike TOPICS

P36 Viva イタリアンバイク

P38 刀ミーティング2024開催。暑くて熱い、刀の一日。

P40 愛車はワイルドなロードホッパー。水墨画家・土屋秋恆さんのバイクライフ

P42 青春の原付バイクを振り返る

P43 思い出の原付 散歩

P44 スポーティなVespaで過ごす休日!

P46 私の愛車は長年夢みたハーレー!

P48 BIKE NEWS/コンテナガレージのサブスクはいかが? ほか。

P50 次に選ぶヘルメット

P51 すぐれたデザインと圧倒的コスパを誇るヘルメット「REIZEN」を知っているか?

P52 最新! バイクモノカタログ

mono

CONTENTS.2

2024.10-16 No.946



【特集】最新バイク&ギアカタログ……………060

秋の自転車、 視界良好!

グラベルにロードにクロス、フォールディング、カーゴまで最新のe-バイクが町へフィールドへ誘う! 快適と安全のために進化した新時代のギア、自力でガッツリ爽快に走れる多彩なスポーツバイクも満載。ニュース、レポート、最新アイテムなど、秋の自転車特集で晴れやかに!

【特別企画】シリーズ第20回 お江戸お洒落

武士の小道具……………080

「纏・指物」

文/高山宗東

武士は「旗幟を鮮明にする」。旗や幟は自分の立場をはっきりと打ち出す道具だった。侍たちは家紋や印を鮮やかに染め抜いた旗を負い、戦場へ赴いた。やがて戦国時代になると、旗には変わったかたちの指物がつけられるようになる。「目立つこと」が重要な時代の到来である。



【特集】シーズン到来! あなたのRUN欲とギア欲を満たす

ランニングギア完全装備……………097

現在、厚底が主流のランニングシューズだが、さらに進化したクッションングのシューズが各メーカーから登場! ウエアも新興ブランドが注目を集めており、いよいよ、群雄割拠の時代へ突入している。そこでモノ・マガジンでは、秋冬のシーズンに向けて最新のランニングギアを特集する。読めば走り出したくなる特集だ。

| | | | |
|--------------------|-----|--------------------------------------|-----|
| mono編集部モノ差し…………… | 006 | In cucina con Matteo〜マッテオのキッチン〜…………… | 110 |
| うーん、うなるモノ…………… | 008 | 新製品情報…………… | 112 |
| ジン・デポ…………… | 054 | モノ進化論…………… | 114 |
| 織本知之の電子写真機恋愛…………… | 058 | モノ・ショップ新聞…………… | 118 |
| monoの大捜査線…………… | 076 | インフォメーション…………… | 122 |
| 今月のもう一杯…………… | 086 | バックナンバーリスト…………… | 123 |
| たかみひろしのシネマショウ…………… | 088 | 次号予告…………… | 124 |
| 怪奇骨董新書箱…………… | 090 | モノ・ショップジャーナル…………… | 表3 |

208psを発揮する 限定スーパースポーツ

サーキットでの栄光の数々、どこまでも美しさを追求する情熱、そして進化を続ける最新技術が詰め込まれた芸術品のようなバイクを生産しているのがイタリアのMVアグスタだ。その代わりに満ちた最新限定モデルはいかに？

文／斉藤直樹

MV AGUSTA SUPERVELOCE 1000 SERIE ORO



**MVアグスタ
スーパーベローチェ1000セリエオロ**
価格958万円

「ライダーの願望を具現化したバイクの開発」という目標から生まれたスペシャルモデル。エアロダイナミクスを強化するフロントウイングや美観と性能を両立させたシャーンなど、走りとしにこだわったつくりとなっている。



パイプオルガンを思わせる4本出しチタン製エキゾースト、パフォーマンスに加えて洗練された美観を演出する2種類のカーボン、デザインに溶け込みながら高速安定性と加速性をアップさせるフロントウイング、さまざまなセッティングも容易な5.5インチTFTダッシュボードなど、神は細部に宿るという美術関係の言葉を思い起こさせるこだわりがこめられた造りは唯一無二だ。



美しさと速さが高次元で融合した走る芸術品

1950〜70年代にロードレース世界選手権で数多くのタイトルを獲得し、現在は最先端の技術とこだわりでハイパフォーマンスバイクを生み出しているのがイタリアのMVアグスタ。そんな同社のバイクの中でも、スペシャルなモデルにだけ冠される「Serie Oro（黄金のシリーズ）」の名をもつ最新作が、「スーパーベローチェ1000セリエオロ」だ。

カフエーサースタイルのカウルには走行安定性を高めるフロント空力ウイングを備え、ボディには鍛造&ラミネートカーボンのコンポーネントを採用。さらにチタン製4本出しエキゾーストやレザー&アルカン

タールのシートなど、さまざまな素材を調和させた洗練された美しいルックスに仕上がっている。

そして走りはパワフルかつスマートだ。職人が手づくりで仕上げた最高出力208PSの1リッター直列4気筒エンジンが繰り出す走りは、最高回転数1万4000rpmまで回しても振動は最小限で、8種類のトラクションコントロールと4つのライディングモードなどの電子制御で、パワフルながらもスムーズな走りを実現する。速くてパワフルで美しいこのバイク、一台ずつ熟練の職人が組み立てているため、500台の限定生産という激レアぶり。もし入手できたなら、ライダーの夢のような走りをたっぷり味わってほしい。

HARLEY-DAVIDSON BREAKOUT®

ハーレー史上最大級の 排気量をもつモダンチョッパー

文／斉藤直樹



ハーレーらしさを堪能できる走りどルックス

ショーモデルのような流麗なルックスと極太リアタイヤが醸し出すドラグレーサーの迫力で人気を集めてきた「ブレイクアウト14」が、ハーレー120周年イヤーの2023年にモデルチェンジ。モダンチョッパーとして生まれ変わったのが現行モデルの「ブレイクアウト」だ。

その目玉は新たに搭載されたミルウォーキーエイト117エンジン。ハーレー最大級の排気量1923ccから圧倒的なパワーを叩き出し、それを240mm極太リアタイヤが受け止めて、リッチ

歴代モデルから受け継がれてきた極太リアタイヤ。その高いグリップ力が1923ccのパワーを受け止める。



随所に輝くようなクロームが使われ、カスタムアメリカンバイクのような華やかさがバイク全体を彩る。

なトルク感に満ちた迫力の走りを生みだしている。足着きよい低車高とクラシカルなルックスを実現したシャーンも軽量化と剛性強化がほどこされ、安定したライディングが楽しめる。

クラシカルながらも煌びやかな5色のカラーリングと、あらゆるコンポーネントに施された光沢感あふれるクロームの組み合わせで彩られたアメリカンバイクならではの華やかなエクステリアも、走る気分を盛り上げてくれること間違いなし。ハーレーの乗る楽しさを色濃く味わわせてくれる一台だ。

ハーレーダビッドソン ブレイクアウト 価格334万1800円〜340万5600円

2017年の誕生以来人気のソフトテイルチョッパーが、ハーレー史上最大級排気量のエンジンと共に新生。燃料タンクは前モデルから約43%容量増の18.9リットルとなり、クルーズコントロールも標準装備とクルーザー寄りに強化されている。



大人が楽しむ
オート
バイ



クリエイティブユニット「GOO CHOKI PAR(グーチョキパー)」が、カスタムデザインを手がけた、和のテイストを取り入れたスクランブラー アイコンが登場!



Tokyo

ドゥカティジャパン社長マツシロンドストローム氏が登壇し、挨拶を述べたほか、イタリア本社からスクランブラー担当ヘッドのロココ・カノーサ氏が来日!



初披露されたオリジナルデザインのスクランブラーアイコンとともに、トークショーで「GOO CHOKI PAR」が、ビジュアルへの想いを語った。

昨年10月発売を記念して、東京タワー内RED TOKYO TOWERにて、ロンチパーティが開催された!



ヴァン・オルトンのデザインに基づいたユニークなスクランブラー・ドゥカティ・バージョンも展示された。



Ducati CEOを務めるクラウディオ・ドメニカリ氏と、先進的なアートを手がけたデザイナーのヴァン・オルトンら。

Milan



スクランブラーモード満載のSpazio Lenovo内で特別なイベントが開催された。

双子の兄弟ステファノとマルコによる「ヴァン・オルトン」が、カスタマイズデザインを手がけた。



Paris

Icon

ドゥカティ/スクランブラー・アイコン 価格127万8000円

パリの12区のグラウンドコントロールで開催され、デザインを手がけたヴァン・オルトンも登場! ブランドの世界観全体が楽しめるムードの中披露された。

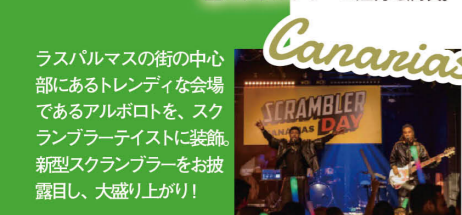
Mexico-city

ヨーロッパに続いて、バーチャルリアリティとテクノロジー活動のハブであるInsparkで開催された。参加者は没入感のある、スクランブラーのバーチャルリアリティゲームも楽しんだ。



Brisbane

イエローカラーに染まったデッキチェア、ビーチパラソル、特製スクランブラーカクテルなど、スクランブラーをテーマにした開放的なスペースにて、ゲストたちが、新型スクランブラーの魅力を満喫。



Canaria's

ラスパルマス市の街の中心部にあるトレンディな会場であるアルボロを、スクランブラーテイストに装飾。新型スクランブラーをお披露目し、大盛り上がり!



China

現代アーティストの「Peng Bo」によりカスタムデザインされた、特別なカバーキットが中国で発表された!



交換可能な新しいタンクカバーにより、ライダーの個性をカラーに反映させることができるユニークなモデル。テクニカル・エレメントも、美しさと機能の両面で進化を遂げた次世代的なアイコン。



Full Throttle

ドゥカティ/スクランブラー・フルスロットル 価格147万5000円

レッドのホイールタグ、オイルバンガード、低いハンドルバー、フロントショートフェンダー、テールフェンダーレスなど、レーシング・ムードを漂わせた、真のトラックカーらしいスポーティなモデル。



Night Shift

ドゥカティ/スクランブラー・ナイトシフト 価格147万5000円

サイドナンバープレート、フロントショートフェンダー、リアフェンダーレス、ミニマルなLEDターニンジケーターを搭載し、新色の「ネビュラブルー」とフルブラックのスポークホイールで、スタイリッシュなルックスが特長。

変幻自在なデザインで世界中を魅了する!

大人が楽しむ オートバイ

London

250人以上のトップドゥカティスタ、スクランブラーファン、プレス、VIPなどが、ヨーロッパ最大のデジタル展示スペースであるアウトターネットのHEREに集結!



新型スクランブラーに加え、ヴァン・オルトン・デザインによるスクランブラーも展示された。



Munich



Jochen Schwoizer Arenaに、700人以上のゲストが集まり、新型スクランブラーの魅力満喫!

Vienna



オーストリアの首都の中心にあるMQアモレミニゴルフ彫刻公園にて開催。優雅な雰囲気とハッピーなスクランブラーのムードが見事に融合!

先代から約70%も設計がアップデートされ、進化したパフォーマンスと新たなデザインを採用した新型スクランブラー!

Ducati Scrambler NEXT-GEN World Tour!

ライディングを楽しむように、バイクのビジュアルをも自由な発想で楽しみたい、そんなライダーの願いを叶える次世代型のバイクが、イタリアが誇る名ブランド「ドゥカティ」の新型「スクランブラー」だ。発売を記念して行われたワールドツアーの様子と一緒に紹介しよう。

文/モノマガジ編集部

この新型スクランブラーの発売を記念し、昨年4月から約1年間にわたって、ヨーロッパ、アジア、オセアニア、アメリカなど世界各地で、「Next-Genツアー」が開催され、大きな反響をよんだ。ミラノやヨーロッパでは、「ヴァン・オルトン・デザイン」により、ツアーのビジュアル・アイデンティティを象徴する、アートな特別モデルが披露された。続く東京では、クリエイティブユニット「GOO CHOKI PAR(グーチョキパー)」が手がける、ジャパニーズ・テイストを取り入れた、オリジナルデザイン「アイコン」が披露され、全国10台限定で抽選販売された。そもそも、2015年に発売されたスクランブラーは、累計販売台数10万台以上を記録し、世界中で大ブームを巻き起こしたバイクだ。今回登場した新型スクランブラーは、さらに進化し、アートやファッション、デジタルやポップカルチャーが融合した、アイコンにマッチしたバイクに仕上がっている。世界中のドゥカティスタを魅了した新型スクランブラーは、自分だけの個性を表現できるバイクなのだ。

「NEXT-GEN FREEDOM(次世代の自由)」をコンセプトに誕生した、「アイコン」、「フルスロットル」、「ナイトシフト」の3型からなる、新型「スクランブラー」は、いずれもこれまで以上にカジュアルでスタイリッシュなモデルだ。中でも「アイコン」は、新フレーム、新エンジン「エンジン」を装備し、先代モデルより4kgもの軽量化が図られ、俊敏性が高まりかつてないほど軽快な走りを、楽しむことができる。

最大の魅力はお洒落でモダンなデザインだ。3つの標準色に加えて、フロントとリアのマッドガード、ヘッドライトカバー、ホイール・タグなどを、アクセサリーとして交換可能で、6色から好きなカラーを選ぶことができる。

岩城滉一
Special Interview



芸能界きつてのバイク好きとして知られる俳優の岩城滉一さんが、今年73歳にして再びレースに復帰したという情報をキャッチした。そこで、チームが練習をおこなう筑波サーキットへと足を運び、岩城さんにレース復帰に対する想いやバイクへの愛情をじっくりと聞かせていただいた。

写真/熊谷義久 文/安室淳一
撮影協力/KTM川崎中央、COUZ、KMT.inc



今年6月にはOVER60KID'S RACEに参戦。レース展開やマシンパワーに勝るライバルたちに苦戦するも29台中13位でフィニッシュを果たした。

バイクに乗るのは特別ではなく自然なこと
日本を代表するサーキットであり、ライダーたちの聖地となっている筑波サーキット。そのパドックで芸能界のレジェンドライダー、岩城滉一さんは待っていた。俳優業のかたわら2輪・4輪を問わずさまざまなレースに参戦し、チームイワキのオーナー兼レーサーとして数多くの栄冠に輝いてきた人物である。岩城さんはライディングスーツにサングラスという姿で現れ、「どうも」と一声。若い頃に比べてだいぶやさしくなったと

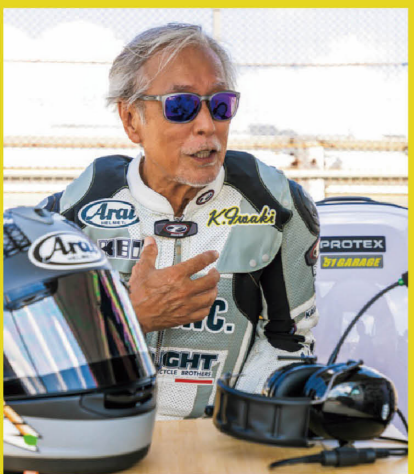
いう岩城さんの招きを受けてインタビューを開始。まずはレースへの復帰についてうかがった。「2輪のレースは1989年から始めて2015年まで、65歳の時に一旦やめたんですね。ずっと勝っていたし、もういいんじゃないかなと自分の中で思ったので、それと結構、怪我なんかもしたりして女房にも申し訳ないなという気持ちもあったんでね。今回のレースへの復帰のきっかけは友人の誘いですね。ただレースからだいぶ離れていたし、足の怪我や体調のことなどもあったのでレース用

のバイクには正直乗れないんじゃないかと思っていたんです。でも練習で久しぶりにサーキットを走ってみたら意外と乗れたので、やってみようかと決めました」そして、今年6月に筑波サーキットで開催されたOVER60KID'S RACEに参戦。「60歳以上限定のレースでしたが、周りにはみな僕より7〜8歳くらい若く、一番年上でしたがそこそこ走れたし、手応えを感じたんですね。また僕が走ることでみなさんが喜んでくれるかなと思ったことも大きかったかな。レースは楽しい。でもレースって気持ちで負けてしまうと走れなくなってしまうので気持ちだけはしっかりもって臨んでいきます。そうじゃないとなかなかこの歳で走れないですよ。今回はノーマル車両でいいタイムが出せず、不本意な結果で終わったので、次は来年の5月に同じレースに出る予定です。それと、じつは今年の11月10日ここでレジェンドオブクラシックという、僕にとっては最終戦があるので、レース車両が仕上がったらしっかりと練習をしてお立ち台に上がりたいと思います」

岩城さんにとってレースやバイクはどんな存在なのだろうか。「レースに出るの楽しみは『生きてる』と感じられること。女房は僕がレースに出かけて帰って来ると、顔を見て『いつもと顔が違う、いい顔してる』っていうんですよね。それと僕は、ケンタウロス。だって、上半身は人間だけど、下半身は馬と同じく足が4本、そのうちの2本はバイクの車輪だって。だから彼女は僕がバイクを降りる時は死ぬ時だと思っているみたい(笑)。まあこの歳からまたレースをやりはじめたら、もう死ぬまでじゃないですかね。それとバイクに乗るのは僕にとって自然なこと。普段もバイクでサーキットまで来たり、ツーリングなんかにも行きますけど、バイクに乗るから何かを気をつけるという風には考えたことはないですね。気をつけるのは免許を持ったかどうか確認をするくらい(笑)。歳を重ねて、勢いだけでなく、賢く走れるようになったので、まずは77歳の喜寿まで走ってその時にゼッケン77を付けたいですね。それがひとまずの目標で、そこまで行けたら次は80歳かな」

そう語る岩城さんの表情は活き活きとして楽しそう。ライダーであれば、死ぬまでバイクに乗り続けたいのが理想でも、それを実践するのはなかなか難しい。ただ岩城さんならばそれを全うしてくれそうな気がする。

「レースを続けられていられるのは、勝つという経験があるから。もし負け続けていたら辞めているかもしれません。勝ったときの良い感覚が残っているからまたやろうと思うんですよ」

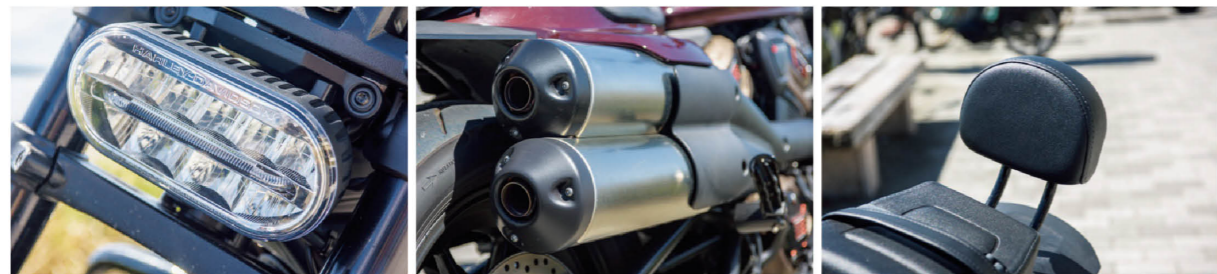


バイクは死ぬまでやめられない。
俳優・岩城滉一、
8年ぶりのレースへ





パワーユニットは、ダブルオーバーヘッドカムシャフトと可変バルブタイミングを備えた、パワフルなRevolution Max 1250T。ライディング中にコントロールを維持できるように設計された液冷式ウォーターポンプ。エンジンガードやタイヤもお気に入り。ハンドルグリップは、テーマカラーのオレンジにカスタムした。



ギア感満載のヘッドライト、栄光のフラットトラックレースを想起させるマフラー、タンデム用にカスタムしたシートなども濱田さんのお気に入り。

お気に入りアイテム!



お気に入りのヘルメットは、伊ヘルメットメーカー「NORAN」の「X830RS」。ウルトラカーボン製で頑丈。サイン・ハウスのインカム「B+COM 6XR」を装着している。

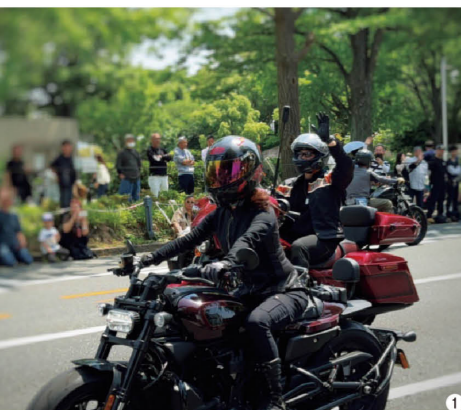
プライベートショット!



お気に入りの「オールセインツ」のレザージャケットとショルダーバッグ。荷物は、「TANAX」の「ミニフィールドシートバッグ」を採用。拡張式で色々な荷物を収納できてお気に入り。



◀①ハーレーが主催する「BLUE SKY HEAVEN 2024」のパレードにも参加した。②磐梯吾妻スカイラインにて、愛車のハーレー スポーツスターS。



**大人が楽しむ
オートバイ**

濱田真紀さん

神奈川県在住。16歳に小型限定普通二輪を取得し、その後大型免許を取得。クルマでのドライブはもちろんのこと、現在は愛車のハーレーで休みの日には、自然の景観を眺めにツーリングを楽しんでいる。



ハーレーが主催する「BLUE SKY HEAVEN 2024」に参加した際に撮影した、濱田さんと愛車。



**私の愛車は長年
夢見たハーレー!**

長年の夢だったという「ハーレーに乗る」という夢を叶え、「ハーレー スポーツスターS」の初年度の限定色を手に入れ、ライディングを楽しんでいるという濱田さん。ハーレーに出会ってから人生の景色までも変わったと話す。そんな愛車の魅力をじっくりうかがった。

写真/佐々木龍 文/モノマガジン編集部

クルマの内装部品設計に従事している濱田さん。もともとクルマに乗るのが好きで、自然とバイクにも興味がいくようになったという。アメリカン・カルチャーが大好きなお父さまの影響もあり、昔から「バイクに乗るならハーレー!」という想いが強くあったという。子育ても終わって自分の夢を叶えたい……、そんな風に思っていた矢先に出会ったのが、愛車であるこの「ハーレー スポーツスターS」だった。

「5年くらい前からバイクに乗り、ツーリングを楽しんでいました。もっとライディングを楽しみたいと思うようになり、長年の夢を叶えようと決意し購入したのが、ハーレーです。大型ですが、足付きも良いし安定感もあり、水冷なので夏場も比較的走りやすいです。走り始めるとストレスなく走行できるので、走りに集中できて最高です。風を感じたり自然と一体になれるので、走りを楽しみながらのバイク! という感じですね。最近ではレディースツーリングに参加したり、ハーレーのファンミーティング「BLUE SKY HEAVEN」のパレードにも参加してライディングを楽しんでいます」と語る濱田さん。

ハーレーはデザインもお気に入りだという濱田さん。カスタマイズにも凝っていて、既にエンジン周りやシート、ハンドルなどを好みの仕様のカスタマイズをしており、いつかスタムを終えようか迷う程だという。次はマフラーを変えよう、ナンバーの位置を変えよう、などカスタムを考えるのも楽しい時間です。このバイクで街を走れば皆が見てくれるし、まさに所有の喜び、といった感じですね」とも語る。

今後は、北海道など遠方への旅にチャレンジしたいと語る濱田さん。「ハーレーに乗ることで、クルマでは体験できないような走りを体験し、見える景色も変わったぶん、人との関係や世界観まで変わったように思います」と楽しそうに話す濱田さん。人生をも変えてくれる力を持つハーレー。これから、さらに楽しい旅が待ち受けているに違いない。

欲しい!秋に乗りたい!
注目バイク



スペシャライズド
VADO SL 4.0

価格33万円
@スペシャライズド・ジャパン
<https://www.specialized-onlinestore.jp/shop/>
SLは「スーパーライト=超軽量」の意味。一般的なe-BIKEに比べ約40%軽くて取り回しが嬉しいシーン多数のe-クロスバイク。航続距離にもライドクオリティにも優れ、320Whの内蔵バッテリーは最長約130km、オプションのレンジエクステンダーでさらに最長約65kmの走行が可能。自分をどこへでも連れ出そう!

最新バイク&
ギアカタログ



MATE BIKE
MATE City

価格27万5000円
@MATE.BIKE.JAPAN
☎03-6277-3987

都市でのライディングに特化したコンパクトでスタイリッシュなe-BIKE。2024年リミテッドカラーは、ビートルのつややかな羽をイメージしたブルーグリーン(上)と、熱帯雨林の色鮮やかな生き物たちからインスピレーションを得たグリーン(下)。爽やかな青空の下へ飛び出そう!



秋の自転車 の視界良好!

グラベルにロードにクロス、フォールディング、カーゴまで最新のe-BIKEが町へフィールドへ誘う! 進化した新時代のギア、自力でガッツリ爽快に走れる多彩なスポーツバイクも満載。ニュース、レポートなど、秋の自転車特集でアクティブに!

写真/鶴田智昭(WPP) 文/モノマガジン編集部

秋におすすめの電動アシスト
グラベルロード最新型!

YAMAHA
WABASH RT

👉 次ページへ



e-MTB

e-マウンテンバイク

**AUTOアシストモードが快適
パナソニック XEALT M5**

価格46万2000円
 ©パナソニック サイクルテック ☎0120-781-603
 「日本のフィールドを遊び尽くす」をコンセプトに開発された本格e-MTB。HIGH・AUTO・ECOの3つのアシストモードが搭載され、AUTOモードでは、強くペダルを踏み込むと一気にアシスト率がUPするメリハリのあるチューニング。ビギナーでも走りやすい。



サイド液晶スイッチナビ画面。AUTOモードでは、急な坂道などでタイヤが空転しにくいアシスト力を実現。

ビギナーでも本格的なオフロード走行を楽しめる車種

比較的凸凹の少ない林道や、舗装路での使用がメインならばリジット（サスペンションがない）モデルも使いやすい。また使用目的に合わせて、購入後にタイヤなどをカスタムするのもオススメ。



操作を集約したグリップ。フロントサスペンションは手でロックでき、舗装路走行時のパワーストレスを軽減可能。
 GXモーター。3つのアシストモードを生み出す。

e-CROSS BIKE

e-クロスバイク

バッテリー残量お知らせ機能が便利

ヤマハ PAS CRAIG

価格12万9000円
 ©ヤマハ発動機 ☎0120-090-819
 細身のフレームに内装3段変速が搭載。700×38Cの太いタイヤが装着され、街中での段差も楽に走破しやすい。LEDバッテリーランプ、サイドスタンド、ワイヤロック、チェーンカバーが標準装備され、日常使いに便利。ハンドルに装着されたスマートクロックスイッチではバッテリー残量低下お知らせランプ&ブザー機能が搭載。



約2.5時間でフル充電することができ、最長約70kmのアシスト走行が可能。

すっきりしたデザインに、スマートクロックスイッチに、時計、バッテリー残量のほか、消費カロリーも表示できる多機能も。

休日の気軽なサイクリング～たまの自転車通勤まで

日常使用することも多いため、カゴや泥除けを装着可能か確認することが重要。また使用頻度が多い場合は、小まめな充電が必要となるので、充電のしやすさをチェックしていこう。



e-CITY BIKE

e-シティバイク

毎日が冒険となる!楽しい一台



キャノンデール Adventure Neo 3 EQ

価格30万円8000円
 ©キャノンデール・ジャパン ☎06-6330-1801
 トップチューブがないデザインで、ライダーの服装を選ばず、幅広いレベルの人が乗りやすい。フロントサスペンション、シートサスペンション、ディスクブレーキ、前後泥除け、サイドスタンドが採用され、街中の様々なシチュエーションで快適に走行することができる。電動バッテリーから給電される前後ライトが装備され安全性も高い。

バッテリーはフレームから取り外しても、装着状態のままでも充電が可能。1回のフル充電で最長133kmの走行可能。より長く、より遠くへ。そして、より楽しく。



街乗りに最適な車種

販売段階からカゴやキャリア、泥除けなどが装着されていることも多く、e-クロスバイク同様、充電のしやすさをチェックすることが重要。また休日に軽いサイクリングなどに使用する場合は、アシスト距離の確認を忘れずに。

**秋の
自転車
視界良好!**
最新バイク&ギアカタログ

e-BIKE

ジャンル別この一択!

人気上昇中のスポーツタイプ電動アシスト自転車「e-BIKE」。楽しみ方の多様化に合わせて、その車種も拡大中!ここではジャンル別に選ぶ時のポイントについて紹介しよう。

文/星野トモ

e-ROAD

e-ロードバイク

**フレーム内蔵型バッテリー採用
ベスピー
JR1**

価格32万8000円
 ©ベスピー・ジャパン <http://besv.jp/>
 アルミフレームに前2段×後11段のシマノ105コンポを装着し、重量15.7kg (XSサイズ)。2つのアシストモードに加え、ペダルを踏み込むことで自動で最適なアシストしてくれるスマートモードを搭載し、最長115kmのアシスト走行が可能。フルカラー小型ディスプレイでスマホ専用アプリと連携できる。



25Cの少し太めのタイヤが装着。ダウンチューブにバッテリーが内蔵され、デザイン性に優れている点も魅力。

ロングライドやヒルクライムなどを走る車種

電動アシスト距離と合わせて車体重量もチェックすることが重要。また、エアボリュームのあるためのタイヤは路面からの衝撃を吸収してくれるので、装着可能なタイヤの太さも確認しよう。



e-GRAVEL ROAD

e-グラベルロードバイク

**ON～OFFを駆け抜ける
最強モデル
スペシャライズド
CREO 2 E5 COMP**

価格59万4000円 ©スペシャライズド・ジャパン
<https://www.specialized-onlinestore.jp/shop/>
 高品質なアルミ素材を採用したフレームに、標準38Cタイヤが装着。最大47Cの太いタイヤが装着でき、街乗り～本格的なグラベルライドまで1台でこなせる本格モデル。フロントフォーク・ダウンチューブ裏側などにダボ穴が付き、バッグやボトルケージを装着できるので、荷物を積載して自転車旅などにも活躍する。



トップチューブ上部に配されたディスプレイは直感的に見やすいデザインを採用。

舗装路から砂利道まで走破

街中の段差などもバンクリスク少なく走ることができるので、自転車通勤などにも使いやすい。泥除けやキャリアが装着できるダボ穴が付いているかがチェックポイント。

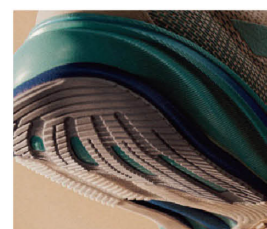


ヘッドチューブ内にサスペンションが内蔵され、上半身に伝わる衝撃を軽減。

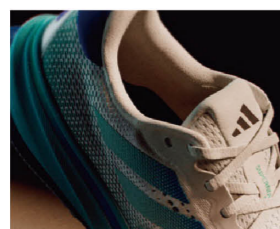
ますます多様化!ますます面白い!

アディダス/スーパーノヴァ ライズ

価格1万5400円 ④アディダスお客様窓口 ☎0570-033-033



どのようなペースで走っても「サポート ロッド システム」が、サポート性とスムーズな体重移動の絶妙なバランスを実現する。



軽量で柔軟なエンジニアードサンドイッチメッシュのアップパー。足全体を快適に包み込む優れたフィット性、サポート性、通気性を確保。



独自のクッション素材「DREAM STRIKE+ (ドリームストライクプラス)」が、毎日走りたくなる快適さを提供する。

「走り心地、ぶつちぎり」を実現！
「気分転換のために時々走りたい！」「健康維持のために走っています！」「いつかはフルマラソンを完走したい！」といったランニング初心者にも快適な走りを提供してくれるシューズ、それがア

ディダスの『スーパーノヴァライズ』だ。アップパーのフィット感、クッション性、着地安定性を高いレベルで兼ね備えることで、ランニングビギナーを始めとした様々なレベル、タイプのランナーにマッ

チするシューズとなった。ミッドソールに採用されたドリムストライクプラスは、最も一般的な素材のEVAよりもクッション性、反発弾性に優れており、推進力にも貢献。内蔵された高密度EVA素材の5本指形状ロッドが安定性を高め、スムーズな重心移動をサポートする。アウトソールの耐磨耗性の高さも魅力で、1万5400円という買いやすい価格設定も嬉しい。

ミズノ/ウエーブライダー 28

価格1万6500円

④ミズノお客様相談センター ☎0120-320799



かかと部から中足部に搭載された波形状のプレートが、クッション性と安定性を両立させスムーズな体重移動と足運びをサポート。



足を包むアップパーには、硬い素材は使わず、柔らかいPUプリントを使用することで履き心地の良さを実現。走行時の負担を軽減する。



きたが、第28弾となる「ウエーブライダー28」も、様々な部分をアップデートさせている。まず、ミッドソールの地面に近い部分に、より反発性とクッション性に優れた新素材「MIZUNO ENERGY ZXX」を搭載することで、反発性とクッション性がさらにアップ。また、履き口の形状を変更することで、履き口全体でつつみこまれるようなフィット感が得られた。この高いフィット感は脚力のロスを減らし、路面へと効率よく伝えてくれる。「ウエーブライダー28」は、シリーズ史上最も快適に走れる1足となった。

RU ランニング N ギア完全 装備

ワンランク上の快適な走り心地！

2024秋冬注目のランニングシューズ

ランニングにとって、最も重要なギアはやっぱりシューズ。今シーズンも各社独自のアプローチでニューモデルを発表。最近の傾向としては、クッション性と軽量性、そして快適性を高い次元で実現していることだ。

文/南井正弘

アンダーアーマー/UAベロシティ プロ

価格1万8700円

④ドームカスタマーセンター ☎0120-106-786



ソールユニットに内蔵されているグラスファイバー製プレートは、推進力の向上と優れた着地安定性を提供してくれるパーツ。



UAフローは、硬くて重いソリッドラバーを使用しない構造。軽量化、接地感覚に優れるだけでなく、グリップ性、耐久性も高レベル。

安定性と推進力の絶妙な融合!

アンダーアーマーのソールテクノロジであるUAフローは、重みの原因となるソリッドラバーを使用しない、軽量で耐久性に優れた最新のクッションング。この構造は、しっかりと地面をとらえ、グリップ感やスピード感を向上し、接地感覚も損なわない。『UAベロシティプロ』では、ソールユニット内部にグラスファイバー製プレートを配したことで、推進力として、安定性を同時に兼ね備えることに成功しており、速いペースにも対応する中級以上のランナーの日々のランニング用としても最適な1足だが、着地時の安定性が不可欠な、脚力が充分でないランナーもトライしやすい。そして同社独自のアッパーテクノロジである、ワーフアッパーは、水平と垂直のテーブラインが足の上でシートベルトのような役割を果たし、足の固定と軽量性を提供してくれる。

水平と垂直のテーブラインが足の上で数多く交差するワーフアッパー。特にペースアップした際に、その優秀性が体感できる。



On/クラウドサーファー Next

価格1万8700円

④オン・ジャパン ☎050-3196-4189



アウトソールは、本当に必要な箇所だけに優れたグリップ力を発揮するラバーパッドを配することで、軽量性も追求している。



新たな走行感覚を提案する!

オンのクラウドサーファーは、同社初の製品、すなわち創業モデルであるが、新たにCloudTec Phaseを採用するなど、昨年のフルモデルチェンジにより、デザインだけでなく、その走行感を大きく変更することになった。そして、その派生モデルとして『クラウドサーファーNext』が今シーズン登場。ミッドソールに優れた弾力性と反発性を発揮するヘリオンスーパーフォーラムを使用し、前述のCloudTec

かかとからつま先への滑らかな重心移動をサポートするCloudTec Phaseと、新しいソールユニットのロッカー形状が、自然と足が前へ出るような感覚を提供してくれる。



フィッティングのポイントと流れ



自分の足のカタチを知ることから始めよう

初心者がぜひ利用すべきなのが同店をはじめ、アシックスの一部直営店で展開されている無料の足形計測サービスだ。最新の3D足形計測機で自分の足の特徴を測定。感覚やフィーリングだけではなく、客観的なデータから最適な1足を選ぶことができる。測定時間はたったの5分間だ！



自分に合ったシューズを見つけよう

計測結果をもとに足の長さと幅に合わせてサイズを決める。小生の場合は左足が24.8cm、右足が24.9cmだったので+約1cmの26cmを選択。さらに3D画像による足の形状で最適なモデルがわかる。両足ともかかとの骨がやや内側に傾いていたのでプロテクションタイプに決定。



フィット感をチェック!

選んだモデルをフィッティング。この際に重要なのがシューズとかかとの位置をしっかりと合わせること。そのうえでシューレースを締め直し、つま先やウイズなどに窮屈さがないかをチェック。アシックスの場合はウイズが3種類から選べるが、足がやや細めの小生は「narrow」を選択した。



立って歩いて最終確認

立った状態で最終的なサイズ、フィット感を確認。3D足形計測では右足首のほうがかかとの傾き角度が大きかったが、塩崎さんに「右足首、よく捻挫しません?」と聞かれ、ビンゴ! O脚でソール外側が激擦り減るタイプなので、まさか内側への倒れ込みはないと思込んでいたが、「だからこそ、計測が大切なのです」。計測しなかったらクッションタイプを選んでいたらかも!



RUNNING

ランニングギア完全装備

初心者にもおすすめのランニングシューズ



ゲットだぜ!

小生の相棒はプロテクションタイプの定番「ゲルカヤノ 31」に決定。護られているに越したことはないから。思いのほか軽くて快適。



ストアを併設した総合型ランステーション。直営店限定モデルやシューズレンタル、イベントも展開。

アシックスラン東京丸の内

東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビルB1 ☎03-6259-1601 ☎ストア/11:00-21:00(土日祝9:00-20:00)、ランステーション/6:30-21:30(土日祝7:30-19:00) ※ランステーションの最終受付は閉店の1時間前まで。

NEW



GT-2000 13 価格1万5950円

さまざまな距離に対応する汎用性の高いプロテクションモデルで3Dガイドシステムを採用。安定性と快適性を両立し、快適な蹴り出しを実現。



ゲルニバス 26 価格1万9800円

雲のようなクッションが特長で、足あたりの良いニットの履き口と伸縮性のあるニットシュータンによって足を快適に包みこむクッションモデル。



ゲルカヤノ 31 価格2万900円

軽いランニングからフルマラソンにまで対応するプロテクションモデル。正直、初心者ならコレを選んでおけば間違いない定番モデルだ。



ノヴァブラスト 4 価格1万5400円

優れた反発性を備え、沈んで跳ねるバウンス感を追及したモデル。やわらかさがありながらしっかり跳ね返り、心地よい走りをサポート。

初心者も安心! 最初の一足の選び方

巷ではいろいろな種類のランニングシューズが豊富にあるが、いったいどれを選んだらいいのか? そこで頼るべきは専門店でのリアルフィッティング。無料の最新足形計測サービスで人気の「アシックスラン東京丸の内」を訪れた。

写真/逢坂聡 文/下川冬樹

「ランニングシューズにはゆっくりに走るのが得意なものとスピードを出すのが得意なタイプがあり、前者にはプロテクションとクッションタイプがあります。最初の1足はこのふたつから選ぶのが基本ですね」とはアシックスラン東京丸の内・店長の塩崎慶一郎さん。プロテクションは足をしっかりとホールドし、ランニング中の足首の内側への倒れ込みなどを防ぐサポートタイプ。走ることから遠ざかっている人や膝、足首に不安のある人にオススメだ。一方のクッションは膝や足首に不安がなくO脚や土踏まずが高めの人向き。ただ、これはあくまでも目安で足のカタチや体型、走り方、目的によっても変わってくるという。そこで頼りになるのが、同店で大好評の最新足形計測システムだ。客観的なデータをまじえて最適な1足を選ぶことができる。最近のランニングシューズには厚底が多いが、それは技術の進歩により、ソールを厚くしても軽量につくれるようになったためだという。「軽いのではいいわゆるプロテクションタイプが苦手な方でも快適に履けますし、将来的に走る距離を伸ばしていくとソールの薄いモデルでは足が辛くなってしまうから。ランニングを愉しむコツは頑張りすぎないこと。」「毎日走る必要はありませんし、距離ではなく30分動き続けるくらいを目標にしたほうが無理がないですね」

©アシックスジャパン <https://www.asics.com/jp/ja-jp/>



このランニングシューズは初心者にもオススメです!

この秋ランニングデビューしたいんですよ…

ライター下川
こう見えて、中学から大学時代までハンドボールに青春を捧げたバリバリの元体育会系。運動から遠ざかって久しいがアラフィフを迎え体力の衰えを痛感し、カラダづくりを再始動中。

アシックスラン東京丸の内店長 塩崎慶一郎さん
大学時代は駅弁部に所属。目下ハマっているのが職場から自宅まで約10キロの距離を走って帰ることで愛靴はプロテクションタイプの「ゲルカヤノ 31」。

イチオシは飛躍進化した定番プロテクションモデル